



伊藤小児科・内科医院 病児保育園

おひさまだより

令和3年10月1日発行

横手市婦気大堤字谷地添7-1 (伊藤小児科・内科医院敷地内)

TEL 0182-23-6477 (予約・キャンセル・お問合せ専用)

ホームページ <http://www.ohisama-itocl.net/>

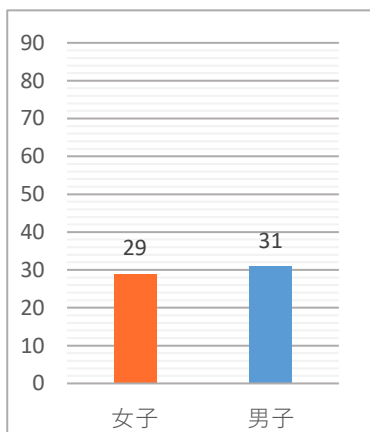


夏の厳しい暑さも終わり、さわやかな秋風が気持ちの良い季節となりました。季節の変わり目は体調を崩しやすくなります。十分な休息、栄養をしっかりと健康管理に気をつけていきたいですね。おひさまでもその日の気温に応じて室内温度に気を配ったり、衣服の調整をこまめに行ったりしながら、お子さんが快適に過ごせるよう努めていきます。

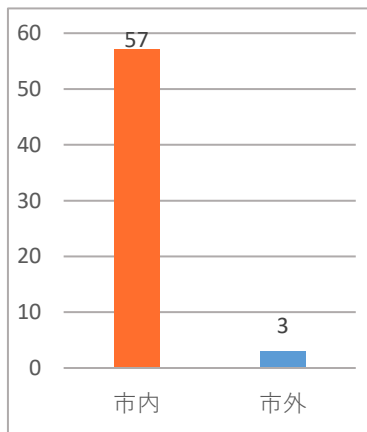
先月の病児保育園おひさまのご利用状況は以下の通りです。伊藤小児科・内科医院の感染症状況もあわせてお知らせいたしますので、どうぞご参考になさってください。

病児保育園おひさま 利用者状況 9月分

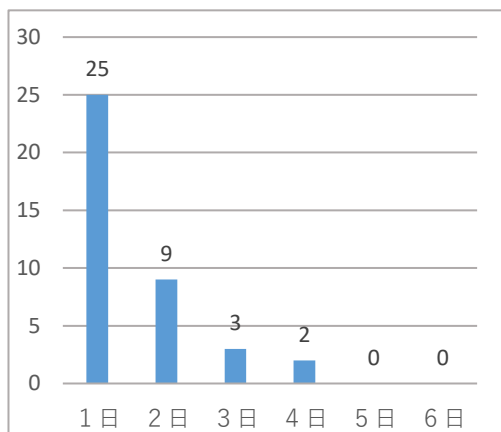
〈性別〉



〈住まい〉



〈連続利用日数〉



〈疾患名〉

	0歳児	1歳児	2歳児	年少	年中	年長	小学生	合計
風邪	21	7	7	5	0	1	0	41
溶連菌感染症	0	1	0	3	0	0	0	4
突発性発疹	4	0	0	0	0	0	0	4
突発性発疹の疑い	3	0	0	0	0	0	0	3
耳下腺炎	0	0	0	0	0	3	0	3
中耳炎	3	0	0	0	0	0	0	3
胃腸炎	1	0	0	0	0	0	0	1
予防接種の副反応疑い	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	33	8	7	8	0	4	0	60



※ 併発している疾患もすべて含む。

伊藤小児科・内科医院 感染症情報 9月分

	第一週	第二週	第三週	第四週	第五週	合計
インフルエンザA	0	0	0	0	0	0
インフルエンザB	0	0	0	0	0	0
RSウイルス	2	7	1	2	0	12
咽頭結膜熱	0	1	2	1	0	4
溶連菌感染症	6	7	6	3	1	23
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0
便アデノウイルス	0	0	1	1	0	2
ノロウイルス	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0	0	0
合計	8	15	10	7	1	41



おひさま看護師から



解熱薬の使い方

発熱はばい菌を退治しようとかんがっている体の防御反応です。

発熱していても機嫌がよく、水分が摂れ、よく眠れているようであれば無理に解熱薬を使用する必要はありません。

38.5℃以上でつらそう（ぐったりして水分が摂れない、苦しそうで眠れないなど）な時に解熱薬を使用してあげてください。一度使ったら、6時間以上は間隔をあげましょう。

熱が下がっている間に水分摂取や睡眠を促し、脱水の予防や体力の回復に心がけましょう。

* 解熱薬は熱によるつらさを軽くするためのお薬です。

病気そのものを治すものではありません。



伊藤先生コラム



インフルエンザ予防接種を受けましょう

9月に入り、寒暖差が大きくなりました。咳、鼻水、下痢などの症状のある子どもさんが増加しています。体調不良があれば早めに医療機関を受診しましょう。

昨年はインフルエンザの流行はありませんでしたが、今年はコロナとの同時流行が心配されます。乳幼児はコロナの予防接種はできませんので、インフルエンザの予防接種はしっかりと受けておきましょう。